

防災ラジオの整備について

令和4年度予算で「エフエムこしがや」の電波を使用し、災害時や緊急時の新たな情報伝達手段として「防災ラジオ」の導入が示されました。初年度は200台を購入し、防災行政無線の聞こえづらい方や災害時要援護者避難支援制度の対象者などの希望者に、一部負担で配布する方向です。



防災ラジオ(見本)

トイレトレーラーを導入!

埼玉県内初

災害時の避難者の快適なトイレ環境は大変重要です。越谷市では3月23日、トイレ不足の解消や機動性、即応性に優れ、従来の仮設トイレと比較して清潔なトイレトレーラー(車体けん引型)を導入しました。県内初、全国で15台目です。

4基の個室型の水洗洋式トイレと貯水タンクを備え、プライバシーにも配慮されています。また、ソーラーパネルを搭載し、停電時でも照明や換気扇などが使用可能です。

トイレトレーラーは越谷市が被災した時はもちろん、大規模災害発生時には被災地域にも派遣します。また、本市は(一社)助け合いジャパン推進の「災害派遣トイレネットワークプロジェクト」に参加しています。

平常時には、市や各地区のイベント等で活用を検討しています。28日まで越谷市役所新本庁舎前で展示されましたが、その後は越谷いちごタウンへ。

災害はないことが一番ですが、万が一の場合でも市民の安全・安心を高められるよう、私は引き続き皆さまご意見等をお聞きしながら、取り組みをしてまいります。



トレーラーとトレーラー内部

市議会議員
ごとう孝江

連絡先

●自宅

〒343-0806 越谷市宮本町 1-66-4 越谷ニューライフ 205号
TEL・FAX 048-966-5088

●越ヶ谷連絡所

〒343-0813 越谷市越ヶ谷 3-3-26
TEL・FAX 048-964-3243



ホームページのアドレスは
<https://takae510.jp>

東北復興応援「つながる」取り組み 《東北フェア2022》開催

3月5日から31日まで、「ガーヤちゃんの蔵屋敷」で東北フェアが開催されました。令和元年(2019年)12月議会で私が提案し、今年で3回目になりました。開催期間や取扱商品も92品目と増え、パワーアップしての開催でした。仮設住宅で誕生した、ソックスモンキーの「おのくん」も相変わらずの人気で、私は今年も購入しました。

東日本大震災の風化と風評が懸念されています。私は今後も「つながる」視点を忘れずに、被災地復興応援に力を入れてまいります。



ロシア連邦によるウクライナへの 侵略への抗議を決議

越谷市議会3月定例会最終日の3月17日、『ロシア連邦によるウクライナへの侵略に断固として抗議する決議』を全会一致で採択しました。



当日は抗議のため、会派「立憲・市民ネット」全員ウクライナカラーで議会に臨みました。

越谷市議会議員 越谷市宮本町 1-66-4 越谷ニューライフ 205号

ごとう孝江

活動報告 2022年春 ● 第76号

新型コロナウイルス感染症が確認されて、3度目の春を迎えましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

3月に入ってからは、東北や関東で大きな地震が観測され、否が応でも東日本大震災を思い出された方も多かったのではないのでしょうか。被災された方々には改めてお見舞い申し上げます。また、今回の地震では首都圏を中心に大規模な停電が発生し、災害時の新たな課題も見えてきました。

さて、昨年10月越谷市長選挙で福田晃新市長が誕生しました。福田市長とは市議会議員として、同じ会派とともに活動をしてきました。今後は福田市政の政策の3本柱「いのちと暮らしを守る」「子どもが輝く社会に」「越谷の未来を創る」の実現を目指し、高橋努前市長を継承する福田晃市長をしっかりと支えてまいります。

新型コロナウイルス感染症との闘いは、ワクチン接種等が進んで来ていますが、ウイルスの新たな変異株への進化など、収束への道のりはまだ険しく、さまざまな制約を受けた生活が余儀なくされています。私たちの生活もマスクの着用や手指消毒等の感染症対策はもちろんの事、オンラインによる仕事や買物が新しい日常になるなど、コロナ禍は社会変革の契機にもなっています。

私は、引き続き皆さまの声に寄り添い、「ウイズコロナ」「アフターコロナ」への越谷市のまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

「出羽チューリップコミュニティフェスタ2022」開催

3月27日、出羽公園で第20回「出羽チューリップコミュニティフェスタ2022」が開催されました。今年も自治会や地区の小中学校の皆さんが丹精込めて育てた約6万本のチューリップが皆さんをお待ちしていました。あいにく寒さのため満開にはなりませんが、久しぶりの出会いに、来場された方々には満面の笑みがあふれていました。

イベントは、新型コロナウイルス感染症対策を考慮して、例年より小規模になりましたが、何よりも20年のチューリップフェスタの思い出や地域の方々の思いが心を癒してくださいました。ちなみに第1回は春の嵐の中の開催でした。

関係者の皆さまありがとうございました。来年は盛大に開催できますように。



チューリップフェスタ、市長とともに



いただいたチューリップ

(マスクは撮影時のみ外しています。)

所属委員会等

- *総務常任委員会委員長
- *都市計画審議会委員
- *越谷・松伏水道企業団議会議員

めぐもりある越谷を
ついでまわー

議会報告

3月定例会

令和4年3月定例会は2月21日に開会し、市長提出議案31件が上程され、すべて承認、同意、可決して3月17日に閉会しました。

主な議案

○専決処分事項の承認について

(令和3年度一般会計補正予算第9号)

令和4年1月6日に住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給について補正予算41億5,400万円を専決処分。

給付対象者は、

- ①令和3年12月10日において世帯全員の令和3年度分住民税均等割が非課税の世帯(住民税非課税世帯)
- ②①以外で令和3年1月以降、新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変し、①の世帯と同様の事情と認められる世帯(家計急変世帯)

給付額は1世帯当たり10万円で、申請受付と支給は既に開始。住民税非課税世帯で、確認書を送付後3ヶ月経過しても返送のない場合は辞退とみなされる。また、家計急変世帯の申請期限は、令和4年9月30日。

※お問合せ 福祉部生活福祉課
臨時特別給付金室 TEL:048-963-9162

置せず、公共施設(体育館・防災備蓄倉庫)に関する計画に変更された。これに伴い、土地契約は賃料の発生しない「使用賃借契約」として事業用地を大和リース(株)さいたま支店に無償貸付する。期間は令和4年(2022年)10月1日から令和26年(2044年)3月31日まで。



(仮称)
市立地域スポーツセンター
(イメージ)

○越谷市公平委員会委員の選任について

大里 定則氏

○越谷市消防団条例の一部を改正する条例制定について

消防団員の処遇改善のため名称、支給額を改正。令和4年4月1日から施行。

改正前	活動手当	災害等に伴う出勤	2,500円
↓		会議・職務研修	2,500円
改正後	活動報酬	災害等に伴う出勤	8,000円
		訓練、研修等	3,500円

○財産の無償貸付について(仮称越谷市立地域スポーツセンター整備事業用地)

市立第1、第2体育館、大沢地区センター跡地に整備する仮称越谷市立地域スポーツセンターはPPP手法(定期借地・賃貸借方式)で計画。整備について地域との協議の結果、民間施設(コンビニエンスストア)は設

○令和3年度補正予算について

補正額	一般会計	22億2,000万円
	特別会計	1億3,060万円
	病院事業会計	7,100万円
	公共下水道事業会計	▲8,620万円
補正後予算総額	2,163億8,917万1,000円	

- 主な事業
- ・民間保育施設や学童保育室等の保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金(職員の賃金改善に係る補助金)
 - ・新型コロナウイルスワクチン接種支援業務委託料
 - ・集団宿泊行事臨時補助金(修学旅行等の中止に伴うキャンセル料)
 - ・財政調整基金への積立金の追加

予算決算特別委員会報告

令和4年度当初予算について

これまでは当初予算の審査は、予算特別委員会を設置して審査をしてきました。市政運営のより詳細な審査を行うため、今定例会から全議員による予算決算特別委員会を設置し、4常任委員会を*分科会として各議員が所属する常任委員会の所管する事項について審査しました。

*4分科会とは：①総務 ②民生 ③環境経済・建設 ④子ども・教育

私は、総務常任委員会委員長として、総務分科会委員長を務めました。以下、令和4年度の当初予算について、その概要を報告いたします。

当初予算規模	一般会計	1,060億円 (対前年度比2.7%増)
	特別会計(8会計)	585億8,900万円 (対前年度比1.4%増)
	病院事業会計	133億6,550万円 (対前年度比1.9%減)
	公共下水道事業会計	105億3,200万円 (対前年度比1.1%減)
	総額	1,884億8,650万円 (対前年度比1.7%増)

令和4年度の当初予算は新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、歳入においては市税の回復が予測され、また新たに自治体版クラウドファンディングの導入など財源確保を図っています。歳出では、少子高齢化、感染症対策、激甚化する自然災害や公共施設の老朽化への対応など、厳しい財政運営の中「第5次総合振興計画」の着実な推進を目指した予算編成がなされています。

令和4年度主な事業

第5次総合振興計画の大綱ごと(1万円未満四捨五入)

大綱1

多様な人が交流し、参加と協働により発展するまちづくり

○大袋地区センター・公民館整備事業(基本・実施計画)	1,800万円
○本庁舎建設事業	8億4,870万円

大綱2

みんなが健康で共生して住み続けられるまちづくり

○地域福祉計画推進事業	1,816万円
○感染症対策事業	2億3,243万円
○(仮称)緑の森公園保育所整備事業	4億9,800万円
○こども医療費給付事業	11億4,300万円

大綱3

都市と自然が調和した集約と連携によるまちづくり

○南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出事業	4億8,445万円
○平新川改修工事(調整池整備)	7,000万円

大綱4

持続可能で災害に強い安全・安心なまちづくり

○災害予防対策事業	5,704万円
○再生可能エネルギー推進事業	1,500万円
○消防署所整備事業(間久里分署建替え用地造成)	8,150万円

大綱5

魅力ある資源を活かし、都市の活力を創造するまちづくり

○産業活性化推進事業	5,730万円
○観光推進事業	7,602万円
○都市農業推進事業	3,705万円



「越谷いちご」に続き「越谷スカイメロン」の試験栽培(農業技術センターにて)

大綱6

みんなが主体的に学び、生きがいを持って活躍できるまちづくり

○小中一貫校整備事業	6億1,300万円
○校内系ネットワーク運用事業	8億3,090万円

(マスクは撮影時のみ外しています。)